

20年
の
ひろば



▲今年の夏もおいしい八千代の梨がたくさん実りました

ありがとうございました

本市の計画の一つである「第3期八千代市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の推進に向け、第一生命保険株式会社様から50万円の寄附をいただきました。同社と本市は包括連携協定を締結しており、企業版ふるさと納税の仕組みを活用した寄附となります。

市民伝言板 /

●子どもネット八千代から ①「生き物ふしぎ探検隊」プロの自然観察家と一緒に、生き物について楽しく学びます。3歳～高校生、保護者対象。定員35人。10月4日(日)午前10時～正午、文化伝承館。子ども1,500円、大人1,000円。②「人形劇団ひとみ座 ふしぎ駄菓子屋銭天堂」映画化、アニメ化した子どもたちに大人気の児童書を、日本を代表する老舗人形劇団ひとみ座が人形劇化！10月12日(祝)午後3時～4時15分、市民会館。大人3,000円、子ども2,500円。①②いずれも申し込みは、下のコードから団体ホームページより申し込み。問い合わせは、子どもネット八千代☎486-4699へ。



ミニ・ガイド

■防衛大学校（一般）学生募集 陸・海・空自衛隊のリーダーとなる幹部自衛官を育成します。18歳以上21歳未満の人対象。受け付けは10月15日(木)まで(必着)。試験は10月31日(土)。問い合わせは、自衛隊千葉地方協力本部船橋出張所☎475-2084へ。

■精神障害者家族「対話の集い」 精神障害者を身内に持つ家族が、悩みや心配ごとなどについて話し合う集いを開催します。8月27日(木)午後1時30分～4時、プラッツ習志野北館。申し込みは、電話またはファクスで習志野八千代心の健康を守る会・渡邊☎453-6760へ。

元オリンピックによる水泳教室開催



▲クロールの部。寺村選手は「腕を大きく動かしましょう」と丁寧に腕の回し方を教えていました

7月18日、セントラルスポーツ生涯学習プラザでリオデジャネイロ・東京オリンピック日本代表の寺村美穂選手（日本選手権200メートル個人メドレー優勝）による水泳教室が行われました。クロールの部とバタフライの部に分かれ、小学生から80代までの延べ約50人が参加。寺村選手が模範演技を披露したあと、それぞれ参加者の泳ぎをチェックし、アドバイスがありました。参加者からは「寺村選手の泳ぎ方を直接見ることができて、とても勉強になった」といった感想がありました。

8月の全国大会に出場する選手が市を表敬訪問



▲辰田湊斗選手（右）と辰田彩貴選手（左）

8月14日～16日に福岡県で開催される「第27回ダイハツ全国小学生ABCバドミントン大会」に出場する辰田湊斗選手（みどりが丘小6年）、辰田彩貴選手（同小2年）が7月21日に来庁しました。「ベスト4を目指して頑張りたい」と湊斗選手。彩貴選手は「目標は優勝すること」と話していました。



▲美馬咲心花選手（右）、上野葵選手（左）

8月13日～15日に東京都で開催される「エアトリ杯第26回全日本少年少女空手道選手権大会」に出場する上野葵選手（新木戸小4年）、美馬咲心花選手（みどりが丘小6年）が7月22日に来庁しました。

上野選手は「一生懸命練習してきたことをすべて出し切って優勝を目指して頑張りたい」、美馬選手は「自分の力をすべて出し切って優勝したい」と話していました。



▲吉永陽香選手

8月1日・2日に宮城県で開催される「文部科学大臣杯第68回小学生・中学生全国空手道選手権大会」に出場する吉永陽香選手（高津中1年）が7月22日に来庁しました。

吉永選手は「指導員の皆さんに教えていただいたこと、家族への感謝を胸に一戦一戦を大切に頑張りたい」と話していました。



▲八千代台バレーボールクラブの皆さん

8月3日～6日に開催される「スミセイバイオリヂイ Vitality カップ JVA 第46回全日本バレーボール小学生大会」に出場する八千代台バレーボールクラブの皆さんが7月27日に来庁しました。「チームの良さは」との質問に、「みんなの仲が良く楽しく全力でバレーボールをやっているチーム。スパイクが強く、ブロックも強い」と話していました。

やちよ文芸コーナー

八千代歌壇

鶴岡 美代子選

花散らす雨降る今日は茶を点てて袱紗さばきに呼吸を合はす

（大和田新田）末澤 章子

印旛沼に慈雨を給ひし龍神の民話かたりき母待つ子等に

（萱田町）吉田 仁子

母の描きし水仙と鞠の水彩画処分できずにまた棚に置く

（八千代台東）伊藤 浩子

清らかにそよぐ若葉にことよせて逝きたる夫に話しかけた

（ゆりのき台）松田 恵子

我が年の半ばも生きず逝きし父短歌詠むことのみ楽しみとしき

（大和田新田）紺野 正勝

ルーペ持ち一字一字を確かめつつ歌よむ友を忘れはしない

（ゆりのき台）大倉 和子

霧雨が止んだ東の間光射す久方ぶりの澄んだ青空

（八千代台北）野原 隆志

実の生らぬオレンジの木を覆い咲く紫テッセン朝日に踊る

（桑橋）野田 節子

選評 一首目、花冷えの日だったか、ひとり茶のお点前をたのしんでいる。余裕のある生活と羨ましい限りだ。と同時に、品格のある短歌、つまり歌格のある作品と言えよう。

二首目、回想詠で、早魅を救ってくれた龍神さまのお話を保育の現場でしたというもの。民話の語にぬくもりを感じる。三首目、母親の思い出に繋がる物はなかなか処分できないものだ。

川柳

八千代川柳連盟選

ぬかるみを抜ける秘策を握っている 吉 橋 根岸 ムベ

麦踏み強く生きろと親心 米 本 西澤はるか

百歳は予定通りと母ピース 大和田 伊藤 なが

SFの世界昭和が見る令和 大和田 羽生田はる

パントマイム終えてピエロの独り言 緑が丘 岩波 敬祐

欲望の欠片わたしを強くする 上高野 神津真智子

初デート鏡の前に一時間 勝田台 村松さとる

高い店はしをくれとは言えぬまま 上高野 中川 薊

俳句

村上 喜代子選

歌声はまだ耳にありさみだる 米本団地 拝詞 妙子

終戦忌父を知らずに八十路なる 村上団地 浜西 幸子

親孝行子供孝行さくらんぼ 勝田台南 大野 咲子

初曾孫立つた立つたと五月晴 八千代台北 加藤 寛昭

風を着る白いブラウスおさげ髪 勝田 草野 純子

七千歩が今日の収穫梅雨の街 ゆりのき台 沖野百合子

朽ちるより散りたかろうに白薔薇 緑が丘 藤枝 昌文

板の間を磨きし後の素足かな 勝田台 小島 文子